

## VII 実習内容

# 基礎看護学実習 I

[1単位45時間]

## 目的

健康を支えるための多様な看護活動を理解できる。

## 目標

- 1 地域の人々の生活の場に、多様な看護の場があることを理解できる。
- 2 健康段階に応じた看護活動の場、機能及び役割を理解できる。
- 3 看護学生として望ましい態度を取ることができる(言葉遣い、身だしなみ、主体的な学習姿勢)。

## 実習時期・期間及び実習時間

- 1 実習時期:1年次
  - 2 実習期間:令和8年6月17日(水) から 6月26日(金) うち 7日間
  - 3 実習時間:9時間(8時30分~12時15分、13時00分~16時00分)
- \*市町村のみオリエンテーション 2時間

+臨地 7時間(8時30分~12時15分、13時00分~14時30分)

	1日目 (4H)	2日目 (2H)	3日目 (9H)	4日目 (9H)	5日目 (9H)	6日目 (9H)	7日目 (5H)
A	A 病院 オリエンテ ーション (20名)	市町村 オリエンテ ーション (40名)	A 病院 (病棟) 10名	A 病院 (認定等) 10名	訪問看護 ステーション 10名	市町村 7h 10名	学内 GW まとめ・発表
			A 病院 (認定等) 10名	A 病院 (病棟) 10名	市町村 7h 10名	訪看 ステーション 10名	
B	B 病院 オリエンテ ーション (20名)		訪問看護 ステーション 10名	市町村 7h 10名	B 病院 (病棟) 10名	B 病院 (認定等) 10名	
			市町村 7h 10名	訪問看護 ステーション 10名	B 病院 (認定等) 10名	B 病院 (病棟) 10名	

※15:30~16:00 は記録の時間とする(市町村実習は実習時間内に 30分程度設ける)

## 実習場所

- 1 病院
- 2 市町村
- 3 訪問看護ステーション

## 内容

### 1 事前学習

- (1) 看護学概論 「看護の本質」「看護の対象」「健康と生活」「看護の場の種類(医療・地域・福祉)」について復習する。
  - (2) ホスピタリティとコミュニケーション 「基本のホスピタリティマナー」「コミュニケーション」について復習する。
  - (3) 地域学で学習した笠間市の特徴について復習する。
  - (4) 地域・在宅看護論概論について復習する。
  - (5) 各実習施設の概要について調べる。
  - (6) 日本看護協会 HP 「キラリ看護の仕事」をみて、看護職について調べる。
  - (7) 専門看護師・認定看護師・特定行為について、受験資格・種類・役割について調べる。
  - (8) 現在考えている看護師の役割についてまとめる。
  - (9) 学生の関心や質問事項を整理する。
- ※(5)(7)(9)について記録1にまとめる。(8)について、記録4(実習前)に記入する。  
使用したテキスト、参考書などの図書については、出典を明記する。

### 2 実習方法(基礎看護学実習Ⅰスケジュール参照)

- (1) 施設毎オリエンテーションを受ける。
- (2) 各施設の看護活動をシャドーイングする。  
各施設のオリエンテーション内容とシャドーイング内容は以下の通りとする。  
見学した内容は、記録2にまとめる。

#### 【病院実習】

##### 病院オリエンテーション:半日

###### オリエンテーション内容

- ① 病院の特徴
- ② 病棟の概要と特徴
- ③ 看護部の組織と管理体制
- ④ 教育・指導体制
- ⑤ 災害時の対応
- ⑥ 実習上の注意
- ⑦ 病院内の見学(病院の特徴と構造)

##### 病棟実習:1日

###### オリエンテーション内容

- ① 病棟の特徴
- ② 入院患者の特徴
- ③ 病棟で働く職種
- ④ 病棟における看護師の役割
- ⑤ 実習上の注意

病棟の看護師の看護活動の見学をする。

※療養上の世話と診療の補助、どちらの場面も見学する。

##### 専門性の高い看護師の活動見学:1日

専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了の看護師等の活動を見学する。

### 【市町村】1日

オリエンテーション内容

- ① 市町村の特徴や市町村行われている保健事業
- ② 事業の概要(目的・法的根拠・内容・取り組み・対象者・職員構成)
- ③ 関係機関、関係職種との連携
- ④ 実習上の留意点

各グループに分かれて、地域で行われている健康保持増進のための看護活動を見学する。

・こども育成支援センター・地域包括支援センター・地域医療センター(保健センター)

### 【訪問看護ステーション】1日

オリエンテーション内容

- ① 訪問看護ステーションの特徴・職員構成
- ② 訪問対象者の概要
- ③ 実習上の留意事項

担当看護師と訪問看護に同行し、看護活動の見学をする。

## 3 カンファレンス

各カンファレンスに示す方法で、学生が主体的に進める。

### (1) ミニカンファレンス

ア 目的

その日の気づきや学びの共有、疑問に対する意見交換を行い、学びを深める。

イ 開催時期：臨地実習時(実習3日目以降)に、毎日行い、時間は15分から30分とする。

ウ 方法

(ア) 事前準備

- a 看護活動の見学を通して、感じたことや考えたこと、疑問など話し合えるように各自準備する。
- b 実施時間や場所は、臨地実習指導者や教員に確認する。

(イ) 実施

- a 各自、自己の実習体験を通して、学びや気づきを述べる。
- b グループメンバー間で、意見交換をする。
- c 臨地実習指導者・教員から助言を受ける。

### (2) 学内まとめ

ア 目的

臨地実習での気づきを他者に伝え、他者の意見を聞き、学びと理解を深める。

イ 開催時期：実習7日目

ウ テーマ：「実習を通しての学び」

視点：

- ① 病院・市町村・訪問看護ステーションの機能と役割
- ② 地域で生活する人を支える様々な場と看護師の役割
- ③ 病院・市町村・訪問看護ステーションでの健康を支える看護活動とは何か
- ④ 看護にふれた体験と気づき
- ⑤ 看護学生としての望ましい態度とは

## エ 方法

### (ア) 事前準備

- a 各自が実習体験から得た学びを口頭で説明できるように準備し、記録3（実習を通して学んだこと）に記入する。

### (イ) 実施

- a 各自の体験をもとにテーマに沿って話し合い、資料にわかりやすくまとめる。  
※どのような場面を見学し、どのような学びがあったのか、自己の体験やミニカンファレンスでの学びをもとに、具体的にまとめる。

※話し合いや資料の作成は、グループメンバーと協力して進める。

- b グループごとに発表し、質疑応答を行う。  
※内容の理解が深められるよう、質疑応答は積極的に行う。

### (ウ) 事後

- a 学内カンファレンス後の学びを記録3（カンファレンス後の学び）に記入する。
- b 記録4（実習後）を記入する。

## 4 実習記録

- (1) 記録1（事前学習課題）
- (2) 記録2（日々の計画と実施）
- (3) 記録3（学内まとめ）
- (4) 記録4

## 記録提出

「Ⅴ 実習の概要」を参照し、指定された日時に提出すること。

## 実習評価

「Ⅶ 実習評価」を参照し、評価表に基づき行う。

基礎看護学実習 I スケジュール

【病院】

	学生の行動	記録・提出物	臨地実習指導者の役割	教員の役割
実 習 前	1. 学習課題について自己学習する。	事前学習 記録1(随時、追加 修正する。)	1. オリエンテーションの準備	1.実習オリエンテーション 2. 実習に臨む姿勢や準備 状況の確認をする。
臨 地 1	1. 病院のオリエンテーションを受ける。	記録2	1. 病院オリエンテーション ※詳細は「2 実習方法」を参照する。	1. 事前学習を確認する。 2. 病院オリエンテーションの内容の理解度を確認する。 3. 病院オリエンテーションのスケジュールに応じて学生を誘導する。 4. 学内まとめに活用できるように整理するよう促す。 5. 朝健康状態を確認する。実習終了時、出欠席表に押印する。
臨 地 2 又 は 3	1. 病棟オリエンテーションを受ける。 2. 看護活動の見学(看護師についてシャドーイング)をする。 3. ミニカンファレンスを実施する。	記録2	1. 病棟オリエンテーション ※実習方法参照 2. 看護活動(療養上の世話や診療の補助)のシャドーイングを実施し、看護師の思考や援助の意図など説明する。 3. ミニカンファレンスでの助言をする。 4. 健康状態の報告を受ける。実習終了時、出欠席表に押印する。	1. 病棟のオリエンテーション内容の理解度を確認する。 2. 看護活動が見学できるように調整する。 3. ミニカンファレンスの助言をする。 4. 見学した看護活動の振り返りをサポートする。 5.朝健康状態を確認する。実習終了時、出欠席表に押印する。
臨 地 2 又 は 3	1. 病院における専門性の高い看護師の活動の概要について説明を受け、看護活	記録2	1. 活動の目的や役割、活動内容について説明をする。 2. 看護活動のシャドーイングを実施し、看護師の思考や援助の意図など説明する。	2～5. 同様

	動の見学をする。 2. 病棟での看護活動を見学する。 3. ミニカンファレンスを実施する。		3. ミニカンファレンスでの助言をする。 4. 健康状態の報告を受ける。実習終了時、出欠席表に押印する。	
--	---	--	---	--

【訪問看護ステーション】

	学生の行動	記録・提出物	臨地実習指導者の役割	教員の役割
実習前	1. 学習課題について自己学習する。	事前学習記録 1(随時、追加修正する)	1. 同行訪問する利用者の選定と同意を得る。	1. 実習オリエンテーション 2. 実習に臨む姿勢や準備状況の確認をする。
臨地1	1. 訪問看護オリエンテーションを受ける。 2. 同行訪問し、看護活動の見学をする。	記録2	1. 訪問看護ステーションのオリエンテーション ※詳細は「2 実習方法」を参照する。 2. 訪問前に、訪問する対象の状態および訪問の目的や看護の方向性を説明する。 3. 看護活動のシャドーイングを実施する。訪問後、看護師の思考や援助の意図など説明する 4. ミニカンファレンスでの助言をする。 5. 健康状態の報告を受ける。実習終了時、出欠席表に押印する。	1. 事前学習の確認 2. オリエンテーションの内容の理解度を確認する。 3. 分からないことの確認 4. ミニカンファレンスの助言 5. 朝健康状態を確認する。実習終了時、出欠席表に押印する。

【市町村】

	学生の行動	記録・提出物	臨地実習指導者の役割	教員の役割
実習前	1. 学習課題について自己学習する。	事前学習記録 1(随時、追加修正する)	1. オリエンテーションの準備	1. 実習オリエンテーションをする。 2. 実習に臨む姿勢や準備状況の確認をする。

臨地 1 (2h)	1. 施設別オリエンテーションを受ける。	記録2	1 施設別オリエンテーション ※詳細は「2 実習方法」を参照する。	1.事前学習の確認をする。 2.オリエンテーションの内容の理解度を確認する。 3.分からないことの確認をする。
臨地 1 (7h)	1.各実習場所に分かれて、保健活動を見学する。	記録2	1. 保健活動のシャドーイングを実施する。保健活動の目的や支援の内容について説明する。 2.ミニカンファレンスでの助言をする。	1. 保健活動を見学できるように調整する。 2.分からないことの確認 3.ミニカンファレンスの助言 4. 朝健康状態を確認する。実習終了時、出欠席表に押印する。

【学内実習】

	学生の行動	記録・提出物	臨地実習指導者の役割	教員の役割
8 日 目 (5h)	1.テーマに沿った個人ワーク (45分) 2.グループワーク・発表準備 (60分) 3.各グループごと発表・質疑応答 (60分) 4.カンファレンス後の記録のまとめ(60分)	記録3 記録4 発表資料		1.グループメンバーが主体的に意見を出し、話し合いができるように支援する。 2.発表が円滑に進むよう支援する。 3.学生の実習での学びを深めるように助言する。

基礎看護学実習Ⅰ 評価表

茨城県立看護大学 看護学科

実習期間: 令和 年 月 日 ~ 月 日	学籍番号・氏名	教員サイン
----------------------	---------	-------

目標1 地域の人々の生活の場に、多様な看護の場があることを理解できる。

	評価規準	評価対象	評価基準				学生	教員
			10点	8点	6点	4点		
1	各施設の目的、機能と役割を述べることができる。	事前学習 実習記録 行動 言動	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について具体的に述べることができる。	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べることができるが具体性が不足している。	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べているが一部不足がある。	実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べているが不足がある。		
2	各施設を利用している対象の特徴を理解できる。	実習記録 行動 言動	施設を利用している対象に関心を寄せ、対象の特徴を具体的に述べることができる。	施設を利用している対象に関心を寄せ、利用している対象の一般的な特徴を述べることができる。	施設を利用している対象へ関心を寄せているが、対象の特徴について一部不足がある。	対象への関心が薄く、偏った視点で対象を捉えている。		
3	地域にある看護の場と生活の場のつながりが理解できる。	事前学習 実習記録 行動 言動	地域の人々の生活の場と看護の場が繋がっていることを、事前学習および実習の体験をもとに説明できる。	地域の人々の生活と看護の場が繋がっていることを実習の体験をもとに説明できる。	地域の看護の場と生活のつながりについて、断片的な説明にとどまる。	地域にある看護の場について説明できない。		

目標2 健康段階に応じた看護活動の場、機能及び役割を理解できる。

4	それぞれの場での看護活動が理解できる。	実習記録 行動 言動	それぞれの場における看護活動の内容について、実習体験を踏まえて具体的に述べることができる。	それぞれの場における看護活動の内容を、実習体験を踏まえて述べることができるが概ねできる。	それぞれの場における看護活動の内容を、実習体験を踏まえて述べることができるが一部不足がある。	それぞれの場における看護活動の内容について、不足が多い。		
5	看護の活動の場や内容は対象によって変わること理解できる。	事前学習 実習記録 行動 言動	対象によって看護の活動の場や内容がどのように変化するかを、事前学習および実習での体験をもとに説明できる。	対象によって看護の活動の場や内容が変わることを実習での体験をもとに説明できる。	看護の活動内容が変わることは理解しているが、対象との関連については断片的な説明にとどまる。	看護の活動内容が対象によって変わることを説明できない。		
6	自己の看護観	終了時課題	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきや考えの変化を体験をもとに記述できる。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきや考えの変化を記述できる。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきを記述しているが自己の考えは欠けている。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づき自己の考えが記述できていない。		

目標3 看護学生として望ましい態度をとることができる(言葉遣い、身だしなみ、主体的な学習姿勢)。

7	専門職としての基本的な態度	観察 行動 言動	看護学生として誠実に対応できた。 <input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 言葉遣い <input type="checkbox"/> 身だしなみ <input type="checkbox"/> 相手を尊重した態度	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題が残るが、改善の必要性に気付くことができた。	何れかに課題があり、自分本位であった。		
8	保健・医療・福祉チームの一員として責任を果たす基本的行動	観察 行動 言動	責任を果たす基本的行動がとれた。 <input type="checkbox"/> 事故防止 <input type="checkbox"/> 感染防止 <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> 時間管理 <input type="checkbox"/> 提出期限 <input type="checkbox"/> 記録物の取り扱い	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題があり、その課題を繰り返した。または何れかの課題により、相手に影響を与える可能性があった。	何れかの課題により、相手に影響を及ぼした。		
9	報告・連絡・相談ができる。	観察 行動 言動	報告・連絡・相談が適切にできた。 <input type="checkbox"/> 時期(タイミング) <input type="checkbox"/> 内容 <input type="checkbox"/> 方法(誰に、どのように)	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題が残るが、改善の必要性に気付くことができた。	何れかに課題があり、その改善の必要性に気付くことができない。		
10	主体的な学習姿勢	事前学習 観察 行動 言動	教科書や参考書、授業資料を用いて不足なく学習をして実習に臨んでいる。見通しを立てた学習ができる。	教科書や参考書、授業資料を用いて学習をして実習に臨んでいる。実習中にわからなかった事柄について積極的に質問し、教科書や参考書等を用いて自ら学習している。	教科書や参考書、授業資料を用いて学習に取り組んでいるが、やや不足がある。かつ、実習中にわからなかった事柄について、促されれば質問や学習ができる。	学習に多く不足があり、学習課題に取り組んでいない。かつ、実習中に課せられた課題に対して学習をしていない。		

合計	合計
評定	

1. 実習施設の概要

1. 病院とは

2. 実習病院の概要

※理念・基本方針・特徴・組織体制・診療科・病総数・職員職種・数など

2. 訪問看護ステーションとは

※目的、主なサービスの内容、利用対象者、職員、訪問看護ステーションのしくみ

3. 笠間市（こども政策課・健康医療政策課・地域包括支援センター）

※担当事業概要

4. 看護職について

専門看護師とは（定義・役割・資格取得の条件・専門分野）

認定看護師とは（定義・役割・資格取得の条件・看護分野）

特定行為に係る看護師の研修制度とは

5. 実習中に聞きたいことや確認したいこと

6. 実習に向けて準備すること【知識・技術・態度（健康状態含む）について考えよう】

基礎看護学実習Ⅰ 記録2  
実習（ ）日目

茨城県立看護大学校 看護学科  
学籍番号 \_\_\_\_\_

本日の実習目標

時間	スケジュール	見学したこと (看護師・保健師・助産師が実施したこと)	見学した内容から、 感じたことや気づいたこと
本日の実習の学び			
指導者サイン		教員サイン	

基礎看護学実習Ⅰ 記録3

学内まとめ

茨城県立看護大学校 看護学科  
学籍番号 \_\_\_\_\_

<テーマ> 「実習を通して学んだこと」

.....  
<カンファレンス後の学び>

「実習を通しての学び」について、カンファレンスを通して学んだことと自己の課題について記載しなさい。

1. あなたが思う看護師の役割について自由に記入してください（実習前）。



1. あなたが思う看護師の役割について、実習での経験をふまえて現在の考えを記入してください（実習後）。